

「ユーリカ民法」第5巻〔第2版〕 目次

「ユーリカ民法」シリーズの刊行にあたって
第2版 はしがき
凡 例
本書の利用の仕方

序 論 家族法総論 1

- 1 家族法の意義と構成 1
- 2 親族・相続法の沿革と基本原則 5
 - ▶1 旧民法 5
 - ▶2 明治民法 5
- 3 身分権と身分行為 7
- 4 家事紛争の処理手続 7

◆第1部 親 族

第1章 総 則 11

- 1 親族の範囲 11
 - ▶1 意 義 11
 - ▶2 種 類 12
 - ▶3 親系と親等 12
- 2 親族関係の変動 13
 - ▶1 血族関係 13
 - ▶2 配偶者 13
 - ▶3 姻族関係 14
- 3 親族関係の効果 14

4	氏と戸籍	15
▶1	氏	15
▶2	名	16
▶3	戸籍	16

第2章 婚姻 18

1	婚姻の意義	18
2	婚姻の成立	20
▶1	形式的要件（婚姻の届出）	20
▶2	実質的要件（婚姻意思の合致，婚姻障害事由の不存在）	22
3	婚姻の無効と取消し	27
▶1	婚姻の無効	27
▶2	婚姻の取消し	29
4	婚姻の効果	31
▶1	当事者の地位に関する効果（一般的効果）	32
▶2	財産上の効果	36
5	婚姻外の関係	43
▶1	婚約の意義と成立要件	43
▶2	婚約の効果	44
▶3	結納	45
▶4	内縁・事実婚	45
6	離婚の意義	52
▶1	意義	52
▶2	離婚の形態	53
7	離婚の成立	54
▶1	離婚の種類	55
▶2	協議離婚	55
▶3	調停離婚・審判離婚	58
▶4	裁判離婚	58
▶5	有責配偶者からの離婚請求	62
8	離婚の効果	65

▶1	人的関係（身分関係）に関する効果	66
▶2	子どもに関する効果	66
▶3	財産上の効果（離婚給付）	69
9	DV防止法	77
▶1	家庭・親密圏の暴力・虐待等への法的整備	77
▶2	保護命令の種類	79
▶3	DV防止法の課題	80

第3章 親子 81

1	親子関係の意義	81
2	実子	82
▶1	実子の意義	82
▶2	嫡出子	83
▶3	嫡出でない子	87
3	養子	90
▶1	養子の意義	90
▶2	普通養子	90
▶3	特別養子	93

第4章 親権 95

1	親権の意義	96
▶1	親権とは	96
▶2	親権の当事者（子・親権者）	97
▶3	共同親権	98
▶4	単独親権	98
2	親権の内容	103
▶1	子の身上に関するもの	103
▶2	財産に関するもの	108
3	利益相反行為	111
▶1	利益相反行為の意義	111

▶2	利益相反行為の判断基準	112
▶3	利益相反行為の具体例	112
4	親権の消滅、喪失・制限	115
▶1	親権の消滅	115
▶2	親権の喪失・停止	115
▶3	親権・管理権の辞退	120

第5章 後見 121

1	後見制度の意義	122
2	後見の開始	122
3	後見の機関	123
▶1	未成年後見人	124
▶2	成年後見人	124
▶3	後見人の辞任・解任・欠格	125
▶4	後見監督人	126
4	後見の事務	126
▶1	就職の際の事務	126
▶2	身上に関する事務	127
▶3	財産に関する事務	128
▶4	後見監督人の職務	128
▶5	家庭裁判所による監督	129
5	後見の終了	129
6	任意後見制度の意義	130
▶1	任意後見契約	131
▶2	契約の効力発生	131
▶3	任意後見の監督	131
▶4	任意後見の終了	132
▶5	法定後見との関係	132

第 6 章 保佐および補助 135

1 保佐制度の意義	136
2 保佐の機関	136
▶1 保佐人	136
▶2 保佐監督人	136
3 保佐の事務	137
▶1 同意権・取消権	137
▶2 代理権	137
4 保佐の終了	139
5 補助制度の意義	139
6 補助の機関	139
▶1 補助人	140
▶2 補助監督人	140
7 補助の事務	140
8 補助の終了	141
9 成年後見の登記	141

第 7 章 扶 養 143

1 扶養の意義——私的扶養と公的扶養	144
2 扶養の当事者	144
3 扶養義務の発生要件	145
4 扶養の程度と方法	146
▶1 扶養の程度	146
▶2 扶養の方法	147
5 過去の扶養料	148

▶1 扶養義務者間の求償	148
▶2 第三者からの立替分の求償	149
6 扶養料債権の履行確保	150

◆第2部 相続

第8章 「相続」総論 155

1 相続制度の歴史	155
▶1 相続の意義	155
▶2 相続制度の歴史	157
▶3 第二次世界大戦以前の相続制度	158
2 相続制度の意義——なぜ相続制度が必要か	159
▶1 相続の根拠	159
▶2 相続の根拠としての被相続人の意思	160
▶3 相続財産を形成する際の貢献の評価（清算的要素）	161
▶4 残された家族の生活保障（扶養的要素）	162

第9章 総則 164

1 相続の開始	164
▶1 相続開始の原因	164
▶2 相続開始の場所	167
2 相続回復請求権	168
▶1 相続回復請求権の意義	168
▶2 相続回復請求権の発生と消滅	169
▶3 相続回復請求権の行使	169
3 相続財産に関する費用	170

第10章 相続人 172

1 同時存在の原則とその例外	172
----------------	-----

2 相続人の種類と順位	173
▶1 配偶者相続人	173
▶2 血族相続人	173
3 代襲相続	175
▶1 代襲相続の意義	175
▶2 代襲原因と代襲相続人の範囲	175
▶3 代襲相続の効果	176
4 相続欠格	177
▶1 相続欠格の意義と法的性質	177
▶2 欠格事由	177
▶3 欠格の効果	178
5 推定相続人の廃除	179
▶1 推定相続人廃除の意義	179
▶2 廃除事由	179
▶3 廃除の手続	179
▶4 家庭裁判所による廃除の判断基準	180
▶5 廃除の効果	180
▶6 廃除の取消し	181

第11章 相続の効力 182

1 包括承継の原則	182
2 相続財産の範囲	183
▶1 所有権・占有権	183
▶2 生命侵害による損害賠償請求権, 慰謝料請求権	183
▶3 契約上の地位	184
▶4 包括承継原則の例外——一身専属権など	187
3 相続分	190
▶1 相続分の意義 (多様な「相続分」)	190
▶2 法定相続分	191
▶3 指定相続分 (相続分の指定)	192
▶4 具体的相続分	192
▶5 相続分の譲渡と取戻し	198

4 共同相続	198
▶1 遺産共有	198
▶2 債権・債務の共同相続	199
▶3 相続財産の管理	202
5 遺産分割	205
▶1 遺産分割の意義	205
▶2 遺産分割の基準	206
▶3 遺産分割の実行	206
▶4 遺産分割の効果	210
▶5 遺産分割後の被認知者の請求	210
▶6 共同相続人間の担保責任	211
6 相続回復請求権	212
▶1 意義・法的性質	212
▶2 当事者	213
▶3 共同相続人間の適用	213
▶4 相続回復請求権の消滅	214

第12章 相続の承認および放棄 216

1 相続の承認および放棄の意義	216
2 相続の承認	217
▶1 単純承認	217
▶2 限定承認	217
▶3 法定単純承認	218
3 相続の放棄	222
▶1 相続放棄の方式	222
▶2 相続放棄の効果	222

第13章 財産分離 224

1 財産分離の意義	224
2 第1種財産分離	225

3 第2種財産分離	227
-----------------	-----

第14章 相続人の不存在 ————— 228

1 相続人の搜索・相続財産の清算手続	229
▶1 相続財産法人・相続財産清算人	229
▶2 相続人の搜索と相続財産の清算	229
2 特別縁故者への財産分与	230

第15章 遺言 ————— 233

1 総論	233
▶1 意義	233
▶2 遺言の性質	234
▶3 遺言事項	234
▶4 遺言能力	234
▶5 共同遺言の禁止	235
2 遺言の方式	236
▶1 総論	236
▶2 普通的方式	236
▶3 特別的方式	241
3 遺言の一般的効力	243
▶1 遺言の解釈	243
▶2 効力発生時期	243
▶3 遺言の無効・取消し	244
▶4 遺言の撤回	244
4 遺贈	245
▶1 意義・性質	245
▶2 遺贈の当事者	246
▶3 包括遺贈	246
▶4 特定遺贈	247
▶5 条件・期限付き遺贈	248
▶6 負担付遺贈	249

▶7	特定財産承継遺言（≡「相続させる」旨の遺言）	250
▶8	遺贈の無効・取消し	251
5	遺言の執行	252
▶1	遺言執行の意義	252
▶2	遺言執行の準備手続	252
▶3	遺言執行者	252

第16章 遺留分 256

1	遺留分制度の意義・目的	256
2	遺留分の帰属とその割合	257
▶1	遺留分権利者	257
▶2	遺留分の割合（遺留分率）	257
3	遺留分の算定方法	258
▶1	遺留分の算定方法	258
▶2	遺留分を算定するための財産の価額の算定方法	258
▶3	遺留分を算定するための財産の価額	259
4	遺留分侵害額請求権	262
▶1	意義	262
▶2	趣旨——遺留分減殺請求権から遺留分侵害額請求権へ	262
▶3	遺留分侵害額の算定	262
▶4	遺留分侵害額請求権の行使	264
5	遺留分侵害額請求権の消滅	266
6	遺留分放棄	267
▶1	相続開始前の放棄	267
▶2	相続開始後の放棄	267
7	遺留分侵害額請求権の濫用	268

参考文献ガイド

判例索引

事項索引